

2023年度 大学院授業評価アンケート

文学研究科・人間社会研究科

◆この授業はどのような形式でしたか。

教員の講義を中心とする形式	15.4%
学生の発表を中心とする形式	21.2%
ディスカッション、対話による指導を中心とする形式	32.7%
以上を複合した形式	30.8%

履修者	137
回答者	52
回答率	38.0%

◆授業評価アンケート

	とてもそう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	全くそう思わない
1. シラバスはわかりやすかった。	67.3%	28.8%	3.8%	0.0%	0.0%
2. 授業のために十分な予習、復習を行った。	63.5%	25.0%	11.5%	0.0%	0.0%
3. 授業には意欲的、積極的に取り組んだ。	78.8%	21.2%	0.0%	0.0%	0.0%
4. 授業、研究指導は自身の研究の遂行に役立った。	73.1%	21.2%	5.8%	0.0%	0.0%
5. 全体として授業、研究指導に満足している。	78.8%	21.2%	0.0%	0.0%	0.0%

◆意見や要望（研究設備・研究環境・研究支援等を含む）

- ・ 作品によって自分の解釈が先生や他の学生と異なっていることがあり、読み込みが浅かった部分があるのだと反省した。また、ものによって先行研究や発表当時の作品の評が少なかったり、なかったりしたので戸惑った。いろいろな意見を聞くことができて興味深かった。
- ・ 源氏物語などの古典に関する話を聞いたり、さまざまな古い資料を見たりすることができて興味深かった。和歌の話や資料も気になっているので聞いたり見たりしてみたい。また、作品や題材に対するいろいろな意見や、先生や他の学生の自分の専攻とは異なる話を聞くことができて面白かった。
- ・ 以前から『魔女の宅急便』という作品について研究してみたいと思っていました。さまざまな観点から作品について考えることができてよかったです。しかし研究の進捗や発表資料の作成など思っていたようにはいかず、反省しています。反省点ばかりですが先生のおかげでどうにか今回の研究発表会も終えることができました。ありがとうございました。
- ・ 明治40年代のさまざまな小説を読むことができて興味深かったです。後期の期末レポートはもう少し根拠を示して書くことができればよかったですと思っています。ご迷惑をおかけして大変申し訳ありませんでした。1年間ありがとうございました。
- ・ この授業を通して新たな知見を得ることができました。ご迷惑をおかけして大変申し訳ありませんでした。2年間ありがとうございました。
- ・ 毎回丁寧な指導をしていただき、研究を進めることができました。ありがとうございました。

◆授業改善に関する報告

- ・ 設問「授業には意欲的に、積極的に取り組んだ」に対し、「とてもそう思う（78.8%）」「そう思う（21.2%）」という回答が得られたのは、とてもよいことだと思う。設問「全体として授業、研究指導に満足している」に対しても、同様の回答が得られていたので、授業への取り組み方と満足度との間には強い相関があると考えられる。意欲的、積極的に取り組める授業がよい授業なのである。
- ・ あまりよくないと思われたのは、設問「授業のために十分な予習、復習を行った」に対して、「どちらともいえない」という回答が11.5%あったことである。授業中の意欲、積極性を自宅でも維持してもらいたいと思う。また、そうなるように授業を工夫することも必要だと思う。
- ・ 「意見や要望」を読むと、授業内容について具体的な記述があるのは、すべて国文学専攻の学生であるように思われる。アンケートの回答率は、38.0%と決して高い数字ではないので、アンケート結果を授業改善に効果的に役立てるためには、アンケートの回答率を上げることが必要である。